

## ■金盃(SⅡ)アラカルト(過去 10 年の分析)

※第 50 回まではハンデ戦で実施

※第 59 回(平成 27 年)より距離 2600m に変更

※記録は 1 月 24 日時点のもの

### ■重賞実績を重視

◇優勝馬 10 頭中、7 頭が重賞の勝ち馬

※例外の 3 頭は、第 53 回優勝バグパイプウインド(デビューから 14 戦 12 勝)、第 56 回優勝トーセンルーチェ、第 60 回優勝ジャルディーノ(直近 4 走で 4 連勝中)

◇過去 10 年で 3 着以内 30 頭中、23 頭が重賞の勝ち馬

◇最近 5 年間に限ると、3 着以内 15 頭中 11 頭が重賞の勝ち馬

### ■ダートグレード競走の出走実績にも注目

◇優勝馬 10 頭中 7 頭にダートグレード競走の出走経験があった

※上記の 7 頭中 2 頭がダートグレード競走 3 着以上の実績

※ダートグレード競走の出走経験がなかったのは、第 53 回バグパイプウインド、第 56 回トーセンルーチェ、第 60 回ジャルディーノ

### ■近走が好成績の上昇馬の台頭も

※重賞実績が乏しくても、上昇馬は無視できない。

第 53 回優勝 バグパイプウインド(デビューから 14 戦 12 勝、2 着 2 回)

第 58 回 2 着 ツクバチャームは南関東移籍後の 4 年間で、6 連勝を含む 27 戦 17 勝、2 着 4 回、3 着 3 回していたが重賞出走は無かった。

第 60 回優勝 ジャルディーノ(直近 10 走で 6 勝、2 着 2 回、3 着 1 回)

### ■東京大賞典と報知オールスターCの出走馬に注目

◇前年の東京大賞典出走馬が 3 勝、2 着 3 回、3 着 3 回の好成績

◇前年の東京大賞典出走馬は、53 回、58 回を除き必ず 3 着以内を確保

◇報知オールスターカップ(川崎)の出走馬も、3 勝、2 着 3 回、3 着 3 回と好成績

### ■前走は 3 着以上、もしくはダートグレード競走に出走

◇優勝馬 10 頭中 7 頭が前走で連対。またはダートグレード競走で 7 着以上

※例外は第 56 回トーセンルーチェ(報知オールスターC3 着)、第 57 回トーセンルーチェ(報知グランプリC4 着)、第 59 回アウトジェネラル(報知オールスターC12 着)

◇2 着馬は 10 頭中 8 頭が前走で 3 着以上、またはダートグレード競走に出走  
※例外は第 55 回シーズザゴールド(報知オールスターC12 着)、  
第 56 回タートルベイ(報知オールスターC4 着)。

### ■勝利数の多い馬が活躍

◇優勝馬 10 頭中 9 頭が 5 勝以上を挙げている  
※例外は第 59 回アウトジェネラル(4 勝)のみ。  
※ふた桁勝利を記録していた馬は 5 頭いる。  
◇2、3 着馬 20 頭中、16 頭が 5 勝以上を挙げている

### ■中距離以上での勝利実績にも注目

◇3 着内の 30 頭中、30 頭すべてが距離 1800m 以上で勝利実績  
※距離実績がなく敗れた主な馬は、第 54 回 5 着ロイヤルマコトクン(3 番人気)。

### ■年明け初戦の馬が 3 勝、2 着 5 回

※年明け初戦の馬が 3 勝、2 着 5 回、3 着 3 回。

### ■別定戦に変更となった第 51 回以降は斤量が軽い馬が活躍

※ハンデ戦から別定戦に変更となったが、第 51 回以降の優勝馬 10 頭中 7 頭が前走より軽い斤量で出走。

### ■6 歳馬以上の高齢馬で 7 勝

◇ 4 歳馬 0 勝、2 着 2 回、3 着 2 回。3 着内率 13.3%  
◇ 5 歳馬 3 勝、2 着 2 回、3 着 2 回。3 着内率 23.3%  
◇ 6 歳馬 2 勝、2 着 0 回、3 着 2 回。3 着内率 13.3%  
◇ 7 歳馬 3 勝、2 着 2 回、3 着 2 回。3 着内率 23.3%  
◇ 8 歳馬 1 勝、2 着 3 回、3 着 0 回。3 着内率 13.3%  
◇ 9 歳馬 1 勝、2 着 0 回、3 着 1 回。3 着内率 6.7%  
◇ 10 歳馬 0 勝、2 着 1 回、3 着 1 回。3 着内率 6.7%  
※7 歳以上の馬は、55 回、59 回を除く 8 年で連対。

7 歳以上の馬が 3 着以内に入線しなかったのは 1 度もない。

### ■牝馬は、3 着 1 回だけ

※牝馬は 6 頭が出走して、第 51 回アウスレーゼの 3 着が最高成績。  
※優勝すれば、第 16 回ヒダカスズラン以来 45 年ぶり 2 度目。

### ■外国産馬の優勝はなし

※外国産馬は 1 頭が出走して、3 着以内なし。

■TCK所属馬が6勝でリード

- ◇TCK所属馬 6勝、2着5回、3着5回。3着内率 53.3%
- ◇船橋所属馬 4勝、2着4回、3着4回。3着内率 40.0%
- ◇川崎所属馬 0勝、2着1回、3着0回。3着内率 3.3%
- ◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率 3.3%

■1番人気～3番人気馬で7勝

- ◇1番人気馬 3勝、2着2回、3着2回。3着内率 70.0%
- ◇2番人気馬 3勝、2着0回、3着1回。3着内率 40.0%
- ◇3番人気馬 1勝、2着2回、3着1回。3着内率 40.0%
- ◇4番人気馬 2勝、2着1回、3着2回。3着内率 50.0%
- ◇5番人気馬 0勝、2着1回、3着1回。3着内率 20.0%
- ※1番人気～3番人気馬で7勝、2着4回、3着は4回。
- ※6番人気以下の馬は1勝、2着4回、3着3回。

■波乱の立役者は実績のある高齢馬

- ※6番人気以下で3着以内に入線した8頭中5頭が6歳以上の高齢馬。
- ※内訳は7歳馬2頭、8歳馬1頭、10歳馬2頭。

■現役では内田博幸、戸崎圭太、真島大輔騎手が2勝

- ※引退した張田京騎手は50回、56回、57回で優勝。

■現役2調教師が2勝で並ぶ

- ※この10年間では、川島正一調教師、藤田輝信調教師が2勝で並ぶ。

■奇数の馬番が8勝、⑥番より内枠で2着6回

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	0	3	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0
2着	1	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
3着	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0	1

## 参考データ

# 大井記念(SⅡ) 第51～58回および 金盃(SⅡ)第59回、第60回を合わせた10年間の分析

※大井記念は第58回(平成26年)まで、距離変更後の金盃と同じ2600mで実施。

### ■3着以内の馬には4勝以上が必要

※全30頭中29頭が該当。

### ■距離2000m以上の実績が重要

◇優勝馬10頭中7頭に2000m以上で1着の実績

◇3着内の30頭中、18頭が2000m以上で1着の実績

### ■5歳・6歳馬が7勝

◇4歳馬 0勝、2着3回、3着1回。3着内率13.3%

◇5歳馬 4勝、2着1回、3着2回。3着内率23.3%

◇6歳馬 3勝、2着2回、3着3回。3着内率26.7%

◇7歳馬 1勝、2着3回、3着2回。3着内率20.0%

◇8歳馬 1勝、2着1回、3着1回。3着内率10.0%

◇9歳馬 1勝、2着0回、3着0回。3着内率3.3%

◇10歳馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率3.3%

※5・6歳馬が活躍。

### ■優勝は1・2番人気馬が5勝

◇1番人気馬 4勝、2着2回、3着0回。3着内率60.0%

◇2番人気馬 1勝、2着2回、3着1回。3着内率40.0%

◇3番人気馬 1勝、2着3回、3着2回。3着内率60.0%

※とくに4番人気馬が2勝、2着2回と健闘。

※また3着に限ると、4番人気以下の馬が7回で要注意。

## ■金盃(SⅡ)アラカルト(過去全 60 回の分析)

- ※第 1 回から第 18 回までは 2400m で実施
- ※第 19 回から第 58 回までは 2000m で実施
- ※第 59 回から 2600m に距離変更
- ※第 21 回が 2 着同着のため、2 着馬は 61 頭  
第 36 回が 3 着同着のため、3 着馬は 60 頭
- ※第 50 回まではハンデ戦で実施
- ※記録は 1 月 24 日時点のもの

### ■1 番人気馬の連対率は 51.7% と低調

- ◇1 番人気馬 21 勝、2 着 10 回、3 着 5 回。3 着内率 60.0%
- ◇2 番人気馬 12 勝、2 着 10 回、3 着 6 回。3 着内率 46.7%
- ◇3 番人気馬 12 勝、2 着 7 回、3 着 6 回。3 着内率 41.7%

### ■3 番人気以内から優勝馬が出る確率は 75%

- ◇60 回中 45 回は、3 番人気以内の馬による優勝。確率 75.0%
- ◇60 回中 21 回は、3 番人気以内の馬によるワン・ツー。確率 35.0%
- ◇60 回中 5 回は、3 番人気以内の馬によるワン・ツー・スリー。確率 8.3%  
(2 着同着だった第 21 回を含む)

### ■連覇は 3 頭

- 第 45 回・第 46 回 インテリパワー
- 第 47 回・第 48 回 コアレスハンター
- 第 56 回・第 57 回 トーセンルーチェ

### ■4 歳、5 歳馬が強い

- ◇4 歳馬 20 勝、勝率 33.3%
- ◇5 歳馬 22 勝、勝率 36.7%
- ◇6 歳馬 9 勝、勝率 15.0%
- ◇7 歳馬 6 勝、勝率 10.0%
- ◇8 歳馬 2 勝、勝率 3.3%
- ◇9 歳馬 1 勝、勝率 1.7%

### ■牝馬は 1 勝のみ

- ※第 16 回のヒダカスズランが唯一の優勝。
- ※牝馬が優勝すれば、45 年ぶり 2 度目。

■外国産馬は未勝利

※第44回ザフォリア、第48回ナイキゲルマンの2着が最高成績。

■南関東現役では4勝の石崎隆之騎手が最多勝利

※石崎隆之騎手は第39、40、42、43回で優勝。

※歴代最多勝利は、高橋三郎騎手の6勝。張田京騎手が5勝で続く。

■歴代14人の調教師が2勝で並ぶ

※現役では岡林光浩、川島正一、藤田輝信調教師が2勝で並ぶ。

■③番が9勝で最多

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	7	1	9	5	7	2	5	1	4	6	4	4	1	1	2	1
2着	5	9	7	7	7	6	2	2	4	3	3	1	2	1	1	1
3着	1	7	6	7	4	5	8	3	5	3	3	2	0	4	1	1

■③枠と⑥枠が11勝で並ぶ

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	7	6	11	2	9	11	6	8
2着	9	11	9	7	9	5	3	8
3着	4	7	9	10	8	8	7	7